

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立玉川小

学校

児童数

82

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.06	21.45	34.29	40.15	47.26	9.54	144.71	22.24	53.89
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.90	18.84	38.48	37.87	38.38	9.84	137.81	14.19	54.32
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.90	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点は男女ともに大阪市及び全国平均を上回っている。男子は握力・上体起こし・長座体前屈・ソフトボール投げにおいて大阪市及び全国平均を上回った。女子は握力・上体起こし・長座体前屈・20mシャトルラン・ソフトボール投げで大阪市及び全国平均を上回った。

質問項目「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」について好きと答える男子は76.5%と大阪市（74.3%）・全国（72.7%）と上回っている。女子は62.9%と大阪市（54.5%）・全国（54.1%）を大きく上回っている。「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」については、男子は14.3%で大阪市及び全国平均より割合が高く、女子は15.2%で大阪市及び全国平均より割合が低かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では「かけ足タイム」や「ダッシュタイム」など計画的に体力向上に努めている。「玉川パークラン」の前には、休み時間に児童が自主的に走る姿もみられ日常的に体を動かそうとする意識の高まりが感じられた。特に自分が走った距離を可視化できる工夫を行ったことで、一人ひとりが目標をもって前向きに取り組む姿がみられた。これまで外遊びに消極的だった児童も玉川パークランやダッシュタイムの練習をきっかけに運動場へ出る様子が見られるようになった。その結果「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して肯定的な意見が大きく上回った。

課題となっている種目においては、今後もシナプソロジーによる運動機能を向上させるプログラムを継続指導していきたい。また、大阪市の数値を下回っている種目については授業の中でも意識して取り組み、技能面の向上を図れるようにしていく。